

ふれあい

NO. 236

2013. 2. 15

社会福祉法人 大阪市手をつなぐ育成会
大阪市天王寺区東高津町 12-10
大阪市立社会福祉センターB1F
発行責任者 笹野井 庸夫
TEL 06(6765)5621 FAX 06(6765)5623
<http://city-osaka-ikuseikai.or.jp>

誰もが読書を楽しみ、情報を得るために
～LLブックを進める！！～

知的障害・自閉症児者のための読書活動を進める会
吉田 くすほみ

LLとは、スウェーデン語でLättlästの略語で、「やさしく読める」という意味です。



誰もが社会的に平等である権利をもっています。誰もが読書を楽しみ、情報を得ることは基本的な人権にかかわることであり、保障されるべきことと思います。

スウェーデンでは、LLブックの出版は1968年に、教育省により政府直轄の事業として、わずかな予算ながら、実験的に始められ、1980

年代に入ると、やさしく読める新聞記事の要望に応じて「8 SIDOR (8ページ)」新聞が週1回発行されました。

インターネットが普及した今では、毎日ホームページ上 (<http://www.8sidor.se/>) に掲載され、合成音声による読み上げが可能となりました。1987年には議会決議により、財団法人「LLブックセンター」が設立され、今に至っています。



日本のLLブックは、1996年に「全日本手をつなぐ育成会」が発刊した写真だけで構成された料理本「ぼなぺてい」や、2002年に愛育社から「山頂にむかって」や「リーサのたのしい一日」の日本語版な

どが発売されています。



最近の日本での取り組みについては、2009年3月発刊の「LLブックを届ける」編著 藤澤和子・服部敦司 読書工房 (2,400円+税) を、読んでいただければ、著者たちのLLブックへの熱い想いが伝わってくると思います。

大阪市手をつなぐ育成会との共催で、2005年より「LLブックを進める—だれもがみんな読書を楽しみたい。知的障がいや自閉症、読み書き障害などがあっても、願いは一緒」をテーマに、年1回大阪市立中央図書館で、セミナーを開催してきました。今年1月13日には、第8回セミナー「やさしく読める出版物、わかりやすい新聞」をテーマに、「全日本手をつなぐ育成会」が17年前より、発行している新聞「ステージ」の編集者を東京より招き、講演していただきました。(大阪市立中央図書館地下1階にLLブックコーナーが常設しています。)



また毎年1月に、谷町6丁目のカフェ&ギャラリー「路地カフェ」にて、LLブックフェアを開催し、本の販売や展示、マルチメディアデージー図書の実演をしています。来年もセミナーやブックフェアを予定しています。

誰もが読書を楽しみ、多くの情報が得やすくなるよう、LLブックの活動の支援をお願いしたいと思えます。